

教科		科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
外国語		英語コミュニケーションⅠ	2	1	必修	講義	演習	実習	その他
						○	○		
教材費・準備物等				進路・資格・興味・関心など					
All Aboard! English CommunicatonⅠ(東京書籍)				身近な日常生活の中にある英語や、日常生活でよく使われる英語表現を実践的に学ぶ。					
科目概要	・自己紹介 ・道案内 ・買い物 ・友達との約束 ・車内アナウンス ・be動詞と一般動詞 ・否定文と疑問文 ・過去形と進行形 ・助動詞とTo不定詞 ・動名詞と接続詞			評価観点	知識技能	授業で学習した文法を用いた文の形・意味を理解している。			
					思考判断表現	テキストの内容に沿ったテーマについて話される対話の概要を捉え、書かれた文章の概要を捉えている。			
					主体的態度	テキストの内容についての質問や問題に対して、既習事項を用いて積極的に取り組もうとしている。			
					評価方法	定期考査、課題、既習事項小テスト、発表、授業への取り組み等			
前年度履修すべき科目		なし							
継続で履修すべき科目		なし							

教科		科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
外国語		英語コミュニケーションⅠ	2	2	必修	講義	演習	実習	その他
						○	○		
教材費・準備物等				進路・資格・興味・関心など					
All Aboard! English CommunicatonⅠ(東京書籍)				身近な日常生活の中にある英語や、世界の社会問題について英語を使って深く考える。世界のあらゆる場面でよく使われる英語表現を実践的に学ぶ。					
科目概要	・ Short Stories in English ・ 受け身 ・ 比較表現 ・ 現在完了形 ・ 分詞 ・ 関係代名詞			評価観点	知識技能	授業で学習した文法を用いた文の形・意味を理解している。			
					思考判断表現	テキストの内容に沿ったテーマについて話される対話の概要を捉え、書かれた文章の概要を捉えている。			
					主体的態度	テキストの内容についての質問や問題に対して、既習事項を用いて積極的に取り組もうとしている。			
					評価方法	定期考査、提出物、既習事項小テスト、出席状況、授業への取り組み等			
前年度履修すべき科目		英語コミュニケーションⅠ							
継続で履修すべき科目		なし							

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
外国語	論理表現 I	2	3	必修	講義	演習	実習	その他
					○	○		パフォーマンステスト
教材費・準備物等			進路・資格・興味・関心など					
NEW FAVORITE English Logic and Expression I (東京書籍)			海外での英語の使用が想定されるようなあらゆる場面での実践的な英語を学び、アウトプットの領域での定着を図る。					
科目概要	主語、動詞、文構造、疑問文と否定文、日本語の言い換え、品詞、句と節を題材として [知識] 主語、動詞、文構造、疑問文と否定文、品詞、句と節について理解している。 [技能] 英語で表現するときに、まずはやさしい日本語に言い換えたり、発想自体を変えたりするなどの技能を身につけている。		評価観点	知識技能	授業で学習した新出表現や、文法を用いた文の形・意味を理解している。また、新出表現の正しい発音ができる。			
				思考判断表現	テキストの内容に沿ったテーマについて話される対話の概要を捉え、書かれた文章の概要を捉えている。			
				主体的態度	テキストの内容についての質問や問題に対して、既習事項を用いて積極的に取り組もうとしている。			
			評価方法	定期考査、提出物、既習事項小テスト、出席状況、授業への取り組み等				
前年度履修すべき科目		なし						
継続で履修すべき科目		なし						

教科		科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
外国語		基礎英語	1	1	選択	講義	演習	実習	その他
						○	○		
教材費・準備物等				進路・資格・興味・関心など					
特になし				英語の基礎となる語彙学習を中心に学び、英語学習の第一歩を踏み出す。ICTを活用した語彙学習を通して、自ら学習に取り組む姿勢を確立する。					
科目概要	中学校の時に英語の学習が十分にできなかった生徒や、もう一度最初から英語を勉強したい生徒などが英語の基礎的な学力をつけることを目標とし、英語の基礎的な言語活動を通して、「わかった」「できた」ということを確認しながら英語の基礎を復習する。			評価観点	知識技能	英語の語彙の正しい発音やスペリング、そして意味を理解することができる。			
					思考判断表現	英語の語彙の意味とスペルを結び付けて、系統的に理解することができる。			
					主体的態度	ペアワークやICTを活用した活動、そして自身の語彙力向上に向けて、積極的に学習に取り組むことができる。			
				評価方法	課題、既習事項小テスト、授業への取り組み等				
前年度履修すべき科目		なし							
継続で履修すべき科目		なし							

教科		科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
外国語		英語活用	2	4	必修	講義	演習	実習	その他
						○	○		
教材費・準備物等				進路・資格・興味・関心など					
特になし				様々なテーマの発表を通して、効果的な発表方法や、自己認知を促す。英語での発表により、アウトプットでの学習効果が期待できる。					
科目概要	自己紹介・家族についての発表・週末自分がすることについての発表・自分の趣味についての発表・興味のある動物についての発表・お気に入りの食べ物についての発表等をできるようにする。			評価観点	知識技能	授業で学習した文法を用いた文の形・意味を理解している。			
					思考判断表現	テキストの内容に沿ったテーマについて話される英文を理解し、自分のことに置き換えて英文を書く・読むができている。			
					主体的態度	既習事項を活用し、より効果的な発表につながるように工夫している。			
				評価方法	発表、課題、授業への取り組み等				
前年度履修すべき科目		なし							
継続で履修すべき科目		なし							